

平成 27 年度沖縄公庫八重山支店の融資実績について

～平成 27 年度の融資実績は前年度に引き続き増加（対前年度比 3.1%増加）～

1. 沖縄振興開発金融公庫八重山支店（支店長：山城興司）の平成 27 年度融資実績は、581 件、63 億 49 百万円で、件数では対前年度より 25 件減少（対前年度比 4.1%減）となったものの、金額では 1 億 89 百万円増加（同 3.1%増）となりました。

金額増加の要因としては、県内の景気が堅調な中で、新石垣空港開港後の入域観光客数が引き続き高い水準で推移していることに伴い、管内経済は活況を呈しており、資金需要が昨年度に引き続き旺盛であることが挙げられます。

2. 資金の用途別では、設備資金が構成比で 63.7%（前年度より 3.9 ポイント減）、運転資金は同 36.3%となり、前年度と比較して設備資金の構成比が若干減少したものの、引き続き 6 割を超える高水準となっており、観光関連産業が好調に推移していることを背景に、引き続き八重山地域における企業の設備投資マインドが旺盛であることを反映したものとっております。

3. 資金別では、中小企業等資金（中小企業資金、生業資金、教育資金、恩給資金）は前年度より件数で 31 件減少（対前年度比 5.4%減）、金額で 1 億 78 百万円増加（同 3.2%増）しており、中小企業向けの融資である中小企業資金による大口融資が増加していることから、件数は減少したものの、融資金額は増加しました。

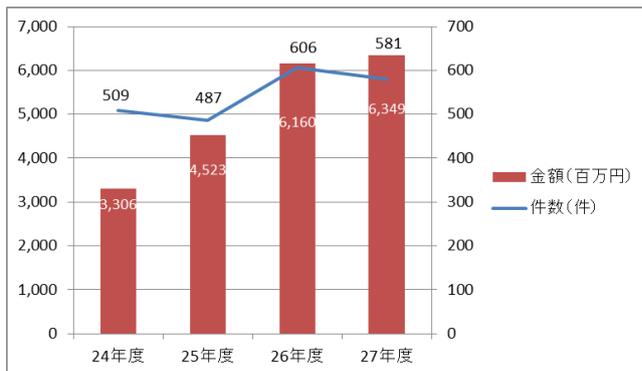
また、農林漁業資金については、六次産業化に向けた取組のほか、子牛のセリ値上昇等を背景とした畜産事業関連の資金需要が旺盛だったことから、前年度より件数で 12 件増加（対前年度比 92.3%増）、金額で 2 億 53 百万円の大増増加（同 93.0%増）したのが特徴的です。

4. 業種別実績では、新石垣空港開港後の入域観光客数が高い水準で推移していることに伴い、宿泊関連の大型設備投資のほか、新規創業者を中心とした飲食・宿泊業の増加（前年度より件数で 25 件増加（対前年度比 36.2%増）、金額で 12 億 20 百万円増加（同 134.7%増））が顕著であり、以下、事業環境が好転している卸・小売業（前年度より件数で 2 件増加、金額で 3 億 75 百万円増加）、製造業（同件数で 8 件増加、金額で 4 億 88 百万円増加）及び運輸業（同件数で 8 件増加、金額で 1 億 56 百万円増加）の融資実績が増加しました。

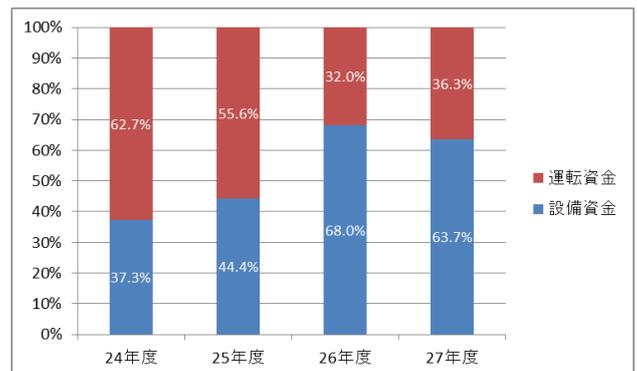
5. 管内の事業環境が良好な中、当公庫としては、今後も八重山地域における多様な資金ニーズに対応すべく、商工会等の関係機関とも連携を図りつつ、国や県の沖縄振興策に沿った融資制度の一層の浸透に努めます。

また、担保や個人保証に過度に依存しない融資制度等の活用により、円滑な資金供給及びコンサルティング機能の発揮に努めてまいります。

（過去 4 年間の融資実績の推移）



（設備・運転資金の構成比の過去 4 年間の推移）



〔問合せ先〕 八重山支店 業務課（担当：伊志嶺）TEL 0980（82）2744